

令和5年度全国学力・学習状況調査結果 (No. 4)

会津若松市教育委員会

4 学力向上の対策

改めて、学校、家庭・地域、教育委員会が学力向上に対する課題意識を共有し、それぞれが主体的に、あいづっこの学力の向上のため、確実に取組を進めていく必要があります。

◎ 授業の「めあて」と「まとめ」を大切にし、児童生徒にとってわかる授業を展開し、基礎的・基本的な内容を定着させます。

また、実生活における事象との関連を図った授業を行うとともに、具体的な場面に対応させながら判断・表現する学習を展開したり、ねらいに応じた言語活動を設定したりして、思考力・判断力・表現力等を高めていきます。

教育委員会は、その授業づくりについて、学校に寄り添いながら指導助言をしていきます。

◎ 授業では発問を工夫し、児童生徒がじっくりと考える時間を設定します。また、自分の考えを相手にしっかりと伝えることや、友達と意見を述べ合いよりよい考えに練り上げていく指導を行います。

そのように児童生徒同士がやりとりする場面で、1人1台タブレット端末などのICT機器を効果的に活用することで、協働的な学びを進めていきます。

教育委員会は、効果的なICTの活用について、好事例をもとに指導助言をしていきます。

◎ 「ふくしま活用力育成シート」の活用を100%にします。解説についても、必ず実施します。

◎ 教員は、引き続き児童生徒一人一人の学習状況を見取り、個に応じた理解が深まるよう学習指導をするとともに、よき相談相手となり、失敗を恐れず考えや思いを表現できるよう励ましていきます。

◎ 教員や保護者は、家で計画を立てて勉強したり、学習したことを振り返り次の学習につなげたりする児童生徒のよさを積極的に見取って認め、児童生徒の学びに向かう意欲を高めていきます。

◎ 市は各種検定受検に対する検定料補助を継続し、児童生徒の学習に対するチャレンジ意欲が高まるよう促していきます。

◎ 学力向上の土台となる望ましい集団づくり、読解力向上のための読書や新聞に親しむ環境づくり、憧れや目標をもつきっかけとなる心に残る感動の場の提供を継続するとともに、学校運営協議会の多様な人材の英知による課題解決や地域学校協働本部による活動の充実を図り、学校、家庭や地域、教育委員会が総ぐるみで子どもたちの学力向上に向き合っていきます。

「令和5年度 全国学力・学習状況調査」の問題については

- ・ <https://www.nier.go.jp/23chousa/23chousa.htm>

「令和5年度 全国学力・学習状況調査」の結果については

- ・ <https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukou/>



をご覧ください。（国立教育政策研究所ホームページ）